

【入院診療計画書】

病名: 硝子体出血

右硝子体手術

0 殿

No.1

年月日	12月31日	1月1日	
経過	入院日(手術前日)	入院2日目(手術当日 手術前)	入院2日目(手術当日 手術後)
患者様の目標	・手術の必要性を理解している ・手術に対する不安があれば伝えることができる	・準備が整い、手術に臨むことができる	・痛みを伝えることができる
検査	・入院・手術前検査が終了していることを確認します。していない場合には追加して検査を行います。		
治療・処置 リハビリ	・手術をする側、右の手首にリストバンドをつけます。 ・リハビリの介入はありません。	・手術前に点滴の針を入れます ・手術2時間前から15分毎1種類と30分毎2種類の点眼を実施します。入院前の点眼薬は一時中止します。術眼の手背に『みぎ』と書いたシールを貼ります。	・術後、酸素吸入を行っていただきます。
注射		・手術中に抗生物質の点滴を行います	
内服	・普段内服している薬を全て持参してください。医師から指示が特別にない限り、持参の内服は全て継続となります。入院前の点眼薬は指示まで中止します	・朝の内服は医師から指示された薬のみ内服してください	・医師からの指示が特別にない限り、手術後持参の内服は継続となります
活動・安静度	・制限はありません	・手術2時間前の点眼後は安静にし、トイレ時は看護師にお知らせください。 ・病衣に着替え、車椅子で手術室に行きます	・手術後3時間はベッド上安静です。その後、トイレ時は車椅子となります。
食事	・制限はありません。入院前から食事制限がある方は看護師に申し出てください	・朝食、昼食は食べられません	・お腹の動きを確認して、問題なければ夕食から再開となります。
観察	・入院時に体温、脈、血圧などを測ります ・体調の変化がないか確認をします	・体温、脈、血圧などを測ります ・体調の変化がないか確認をします	・眼の痛み、頭痛などがある場合は申し出てください
清潔	・制限はありません	・制限はありません	・入浴、洗顔はできませんのでタオルをお渡しします
排泄	・制限はありません	・手術前の点眼開始後は眼が見えにくくなるためトイレ時は看護師を呼んでください	・手術後は麻酔が覚める3時間ほどは安静にしてください。その間車椅子で介助します。
教育・指導・説明	・医師から手術の説明がされているか確認します。手術・麻酔同意書の確認をさせていただきます。 ・看護師から入院、手術に関する説明があります。入院診療計画書の説明があります。診断書があるかたは早めにお申し出てください。	・手術前の点眼開始後は眼が見えにくくなるためトイレ時は看護師を呼んでください。 ・お化粧品は全て落としてください。眼鏡・時計・アクセサリ・義歯・補聴器・ヘアピン・マニキュアは外してください。手術中貴重品は金庫に保管するか、御家族に預けてください。	・手術をした眼に眼帯がつきます ・眼をこすことはできません ・眼の痛み、頭痛などがある場合は看護師に伝えてください ・手術後に医師から説明があります。御家族は病棟でお待ち下さい。

特別な栄養管理
の必要性 有・ 無

年月日	1月2日～1月5日	
経過	入院3日目～6日目(手術後1日目～4日目)	
患者様の目標	・痛みを伝えることができる ・点眼、内服方法、生活上の注意点を理解し退院することができる	
検査	・朝8時から9時頃、眼科外来で診察があります。お呼びしますので病室でお待ち下さい。	
治療・処置 リハビリ	・手術後点眼が3種類あります	
注射		
内服	・抗生剤の内服が処方されます(3日間のための処方です)	
活動・安静度	・制限はありません	
食事	・制限はありません	
観察	・眼の痛み、頭痛などがある場合は申し出てください	
清潔	・首から下のシャワーは可能です。 ・洗顔はできませんので顔を拭くタオルをお渡しします。	
排泄	・制限はありません	
教育・指導・説明	・医師から退院前に説明があります ・退院日に看護師から次回受診日、内服、点眼方法についての説明があります ・退院日に退院後の生活上の注意について説明があります ・退院時にリストバンドを外します	

退院後の治療計画 及び療養の留意点	・日常生活上、諸注意を守ってください。 ・主治医の指示に従い、点眼を続けてください。
----------------------	---

※入院期間や病名など、治療計画については、現時点で考えられるものであり今後変更となることもあります。
ご不明な点はお気軽にスタッフにお尋ねください。

明治33年1月0日

主治医: 氏名

担当看護師:

上記の治療・看護計画に同意します。

ご署名:

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院